

東紀州教育学舎通信

2021年11月17日



第41号

教職大学院の東紀州実習を終えて！～大変お世話になりました～

本年も5月末より10月中旬まで、東紀州サテライト教育学舎を拠点に、三重大学教職大学院東紀州長期実習（2週間）が行われました。特色ある取組を進めている東紀州地域の学校教育活動から学ぶことを目的に行われ、本年で5年目を迎えました。実習を受け入れていただいた学校の先生方や市町教委に皆様には大変お世話になりました。

今年は学校経営力開発コース（現職教員学生）の学生9名と教育実践力開発コース（学部新卒生等学生）7名が、複式学級での少人数指導、地域に根ざした学習活動、防災教育、自分の学修テーマについて、学びを深めることができました。一部ですが、次に院生の感想を紹介します。



賀田小	尾鷲市
宮之上小	
輪内中	
尾鷲小	
向井小	熊野市
新鹿小・中	
飛鳥小	
五郷小	
井戸小	
木本小	
有馬小	御浜町
木本中	
尾呂志学園小・中	
木本高	県立

東紀州での実習は、とても有意義なものになりました。まず、勤務校とは遠く離れた地域の学校で実習を行うと、学校や教師の文化の違いに驚きます。違いに触れるということは、自分を見つめ直すことにもなります。私は、自分の学んできた教育技術や教師としての姿勢を見つめ直すことができました。また、教職大学院で学んだ理論から得た新たな視点で、学校を見る機会にもなりました。そして、東紀州サテライトで過ごす夜、実習を共に行う仲間と、教育について語り合うことができ、とても楽しく、学びが多い実習となりました。実習で学んだことをこれから出会う子どもたちのために生かしていきます。

【尾鷲市立宮之上小学校 中村数理】



今回の実習では、専門教科である数学の授業観察や授業実践に加え、教務・進路・人権・教育相談等の様々な分掌を担当する先生方からお話を聞く機会を頂き、様々な側面から木本高等学校のマネジメントについて知ることができた。実習を通して、学校の実態や教育の理念の違いによる「教育の在り方」の違いを、少しながらに感じ取ることができた。またそれと同時に、地域ならではの教育に触れることで、自分が今まで受けてきた教育を見つめ直すことができ、その学校に見合った教育を行うことの大切さを学ぶことができた。

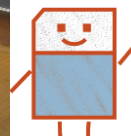
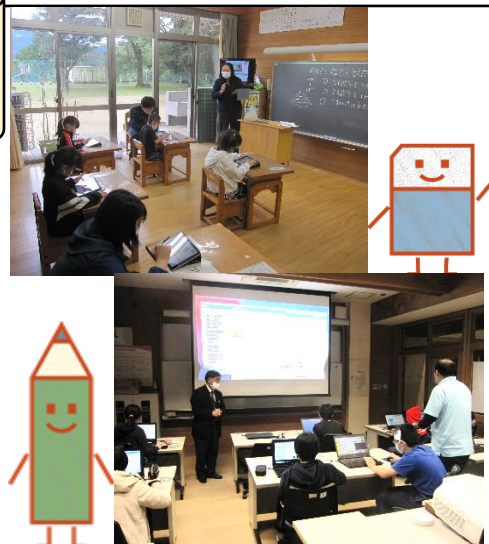
【三重県立木本高等学校 桜木隆伍】

パソコン&iPad/プログラミング出前授業！ ～御浜町立尾呂志学園小・中学校～

10月19日(火)に、御浜町立尾呂志学園小・中学校の児童生徒に、小学1年生から中学3年生（計21人）を3つのクラスに分けて、プログラミング出前授業を行いました。

小学1～2年生はiPadを使って、Scratch Jr.で画面内のキャラクターを指示通り動かしました。3～6年生はScratchで、少し高度な命令を学習した後、各自で背景やキャラクターを変え、ストーリー性のある作品を作りました。

中学生はこれまで学んだことを復習した後、数学で学ぶ変数と関数を関連付けながらゲーム性のある作品作りに挑戦しました。



圧縮版年間計画と英会話たいそうの実践！

～熊野市立五郷小学校～

アウチ
Ouch



10月26日(火)に、熊野市立五郷小学校の中学年学級で出前授業を行いました。

この学級では、外国語活動は東紀州サテライトの「圧縮版年間指導計画」に基づいて指導されており、4月から「英会話たいそう」にも取り組んでいます。

半年間取り組んだ子どもたちにアンケートをしたところ、「英会話たいそうが好き」、「これからも英会話たいそうを続けたい」と、全員が回答しました。子どもたちに人気のフレーズは「Ouch (痛い)」や「Wait (待って)」でした。東紀州サテライトでは、96の英会話の基本表現が習得を目指した「英会話たいそう」の出前授業をしています。

「英会話たいそう」の実践をしている担任の先生にインタビューしてみました。

・子どもたちの様子は？⇒歌って踊ってがんばって楽しんで覚えています。

何人かの保護者からは、家でも歌って踊って覚えていると聞いています。

・子どもたちがよく使うフレーズは？⇒Can I go to the bathroom?です。

・担任の先生が気に入っているフレーズは？⇒Waitです。

・身につくことは？⇒日常生活に英語が取り入れられるようになることです。

・指導のポイントは？⇒外国語活動の授業の最初の場面で、前半と後半のフレーズを分けて導入しています。

低学年の方がやりやすいです。欲張りすぎずにコツコツと行っていくことが継続するポイントです。



トピックス



・鳥羽市立神島中学校と教育学舎を Zoom で結び、打合せ及び英語の出前授業を行いました。

(2021年9月21・22・24・27日、10月1・6・18・20日)

・鳥羽市立神島中学校と教育学舎を Zoom で結び、打合せ及び音楽の授業支援等を行いました。

(2021年9月27・28日、10月4・5・8・12・18・19日、11月1・2・8・9日)

・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の各教育委員会、紀州教育支援事務所、尾鷲高校・くろしお学園・木本高校・紀南高校を訪問し、通信の配布、意見交換、打合せ等を行いました。(2021年9月27・28・29日、10月5・12・20日)

・尾鷲市立輪内中学校と教育学舎を Zoom で結び、打合せ及び英語の出前授業を行いました。

(2021年9月30日、10月15・28日)

・三重県南部地域活性化推進課と三重大学、教育学舎を Zoom で結び、意見交換をしました。(2021年10月12日)

・熊野市立木本小学校と教育学舎を Zoom で結び、打合せ及び外国語の出前指導を行いました。(2021年10月18・21・28日)

・熊野市立井戸・五郷小学校で、英語の出前授業を行いました。(2021年10月18・20・25日、11月2・8・9日)

・御浜町立尾呂志学園小・中学校で、プログラミングの出前授業及び打合せを行いました。(2021年10月19・27日)

・三重県教育委員会、紀北教育研究所、紀北町立赤羽・熊野市立新鹿・尾鷲市立賀田小学校・

輪内中学校と英語に関する打合せを行いました。

(2021年10月22・25・26日、11月2日)

・松阪市立西黒部小学校と周辺の小学校と教育学舎を Zoom で結び、英語の教員研修を行いました。(2021年10月27日)

・教育学舎で、ジュニアドクター育成塾を行いました。

(2021年10月2・23・30日)

・紀北町立赤羽小学校で、紀北町内の外国語研修の講師を務めました。

(2021年10月29日)



東紀州サテライト

東紀州教育学舎



教育学舎で過ごす実習生のみなさん

<メンバー>

東紀州
教育学舎長：伊藤 信成

専任教員：大野 恵理

特任教員：榎本 和能

特任教員：萩野 真紀

プロジェクト
教員：須曾野仁志

事務補佐員：村井美恵子

〒519-4394 三重県熊野市木本町 1101-4

三重県立木本高等学校 旧寄宿舎(南風寮)

Tel: 0597-89-7015 Fax: 0597-89-7015

E-mail: edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp

*プログラミング学習や外国語活動の出前授業など、ご希望の学校は、お気軽にご連絡・ご相談ください。